

令和5年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
93	川崎市立西菅小学校	小林 勝弘

学校教育目標	今年度の重点目標
かしこく 心豊かで たくましく 自分で考えて行動する子 共に生きる子	・児童が学びに夢中になれる授業づくりに努める。 ・進んで挨拶し、自らコミュニケーションの輪を広げられるような支援を工夫する。 ・心身ともに健康な生活を送るための行動の基礎(睡眠・栄養<給食>・運動)を身に付けられるように努める。

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 かしこく(知)夢中、表現、想像力 ①児童が学びに夢中になれる授業づくりに努める。 ②学び方がわかり、自分の思いや願い、考えを表現できる指導を工夫する。 ③読書活動やGIGA端末を活用した教育活動を通して、児童の想像力の育成に努める。	○全教科・領域において、導入の工夫、板書の工夫、児童が主体的に行う学習、交換授業・合同授業の実施(一部学年) ○今年度も国語の校内研究を行い、学びに夢中になる子をめざして、「やってみよう」「どうすれば」「やってみよう」という気持ちをもてるような学習の実施 ○読書の日常化、「西菅読書に親しむ日」の家庭への啓発、学校司書・図書ボランティアとの連携、GIGA端末の効果的な活用	○児童が学びに夢中になる授業については、国語の校内研究等を通して、児童一人一人の進度に合わせ学習を展開したり、協働的な学習の場面をつくったりすることで、一定の成果を出すことができた。しかし、表現力については、個人差が大きく、児童もまだまだできると考えているのではないかと。保護者に対してもさらに学習の様子について発信しながら、教員もさらなる授業改善をしていきたい。 ○想像力を育成するための、読書活動やGIGA端末を活用した活動については、活動の充実を図っているものの想像力が培われているかを見取りは難しい。読書活動については、地道な活動を続けたり、「西菅読書に親しむ日」に続く、新たな仕掛けを模索したりしていきたい。 ○GIGA端末を活用した活動も児童のもっている達成感を大切に、さらに授業での有効活用を考えていきたい。	○主体的・対話的で深い学びの実現のため、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて、授業実践を積み重ねていく。 ○基礎基本の習得⇒モジュール学習(週2回15分間の短時間学習)の創設 ○読書活動のさらなる充実⇒「西菅読書に親しむ日」の継続と「西菅読書に親しむ時間」の創設 ○GIGA端末の効果的な活用を引き続き行い、校内研究ともリンクさせて実践していく。
2 心豊かで(心)思いやり、感謝、協力 ④進んで挨拶し、自らコミュニケーションの輪を広げられるような支援を工夫する。 ⑤思いやりや感謝する心を育む。 ⑥友達と協力して進んで活動し、目標に向かって最後まで粘り強くやり通す児童を育成する。	○挨拶は、まず大人が率先垂範。できた時の温かい声掛け ○かわさき共生＊共育プログラム、効果測定の利用 ○朝会を月1回に減らし、児童の自主的な活動「にしにしフレンズ活動(通称にし活)」の導入により、児童に活動の見通しをもたせる。	○「思いやり」「感謝」については、児童も教職員も保護者も満足度が高く、とても嬉しく思う。土曜参観で共生＊共育プログラムも参観していただいたこともあるだろう。「挨拶」など昨年度から引き続き、児童会等が力を入れていて、今年度学校運営協議会委員も交えた挨拶運動ができた。 ○友達と協力しての活動については、今年度「にしにしフレンズ活動(通称にし活)」を取り入れ、委員会活動やクラブ活動の準備・計画や係活動などに充て、一定の成果を上げたが、まだまだ認知不足なので、さらに周知していきたい。	○思いやり、感謝、協力の気持ちを大切に、いじめ撲滅を図るため、継続して異学年交流を深めていく。 ○自主的な活動の充実⇒児童が主体的に行う学習の充実と時間の保障(週時程の大幅な見直し例…朝会・にし活、委員会・クラブ活動を火曜日に。かつクラブ活動の増)

3	<p>たくましく(体)健康、安全、体力向上</p> <p>⑦心身ともに健康な生活を送るための行動の基礎(睡眠・栄養<給食>・運動)を身に付けられるように努める。</p> <p>⑧学校の決まりや交通ルール、防災防犯のルールを守って、安全で安心に生活することのできる児童を育成しながら、環境整備にも努める。</p> <p>⑨体を動かすよさに気づき、運動を楽しみ、進んで体力づくりを行うことのできる児童を育成する。</p>	<p>○一日のリズムを大切に(特に、月曜日に要注意)</p> <p>○定期健康診断の充実、ミニ保健指導の実施</p> <p>○自主的な活動と規範意識のバランス、防災防犯意識向上</p> <p>○体力向上については、委員会活動等による様々な仕掛け。抵抗力をつける。</p>	<p>○初めての試みであったミニ保健指導は、児童にも大変好評であった。</p> <p>○学校の決まりや交通ルール等の取組については、保護者の評価が高く、児童の安全という面からも地域や保護者の皆様に感謝したい。ただ、放課後の遊び方、SNS等の活用については少し課題が見られる。</p> <p>○体を動かすことは、昨年度に引き続き、児童よっての活動の差を感じる。保護者も教職員も「もう一つ」という評価なので、インフルエンザ等の対策(免疫力を上げる等)も踏まえ、体力づくりへの取組も大切になってくる。</p>	<p>○ミニ保健指導の継続</p> <p>○体力向上⇒全校あげての体力づくり(水泳学習の充実)</p> <p>○防災研究推進校(予定)⇒中学校区一斉の引き取り訓練の充実、防災訓練の見直しなど</p>
4	<p>支援教育の充実</p> <p>○人権意識を高め、いじめ、暴言・暴力は、決して許されないという姿勢をもつ。</p> <p>○児童にとっての最善を考え、教育的配慮のもと、適切な支援や指導を行う。</p> <p>○一人一人の教育的ニーズに応じた支援教育を基盤として取り組む。</p>	<p>○困ったら、まずは担任⇒学年、支援教育CO、管理職等へ</p> <p>○月2回の配置となった巡回カウンセラーの活用</p> <p>○教育相談日を月2回に拡充</p> <p>○にしにしポストの活用(困ったことや相談したいことだけでなく、よいことについても受け付ける体制づくり)</p> <p>○SOS出し方・受け止め方教育の実施</p>	<p>○「いじめは絶対に許さない」という一貫した姿勢でのぞんでおり、事案が起きても、即時対応に努め、児童や保護者の理解も高く、嬉しく思う。教育相談については、管理職、支援教育コーディネーター、巡回カウンセラー等、広く相談を受ける体制のもと、関係機関との連携も含めてさらによりよい方法を模索していきたい。</p> <p>○支援教育については、なかなか見えにくいものがある。支援教育の実際についての発信が必要だと思う。</p>	<p>○教育相談のさらなる充実のため、月1回の教育相談日を個人面談や授業参観がない月は、月2回に拡充する。</p> <p>○引き続き、SOS出し方・受け止め方教育を行っていく。</p> <p>○支援教育の充実⇒通級指導教室エリア拠点校としてのあゆみ</p>
5	<p>開かれた学校を目指して</p> <p>○HP、情報配信メール、学校説明会・学校報告会、学校公開、授業参観、学習発表会、学校・保健・給食便り・HP等を通して、児童の姿や学びの様子を保護者や地域に発信し、共有する。</p> <p>○児童・保護者・教職員で行う学校評価を生かして学校運営協議会と学校運営を行う。</p>	<p>○HPや情報配信メールをフルに活用し、積極的な情報発信に努め、保護者や地域からの信頼を深める。</p> <p>○2年目となった学校運営協議会(コミュニティ・スクール)委員の学校運営ならびに教育活動への参画</p>	<p>○HP(授業日毎日更新)、情報配信メール(年間100本以上)等を通じて、児童の姿や学びの様子、学校の考え方等を発信し、非常に高い評価をいただいている。</p> <p>○学校運営協議会(コミュニティ・スクール)も2年目を迎え、集会等も見えていただいたり、授業に参画していただきながら、ご意見をいただいている。</p> <p>○学年だよりを学校だより一本化して2年目となり、全部の学年の学習が見通せる形が定着し、引き続き好評を得ている。</p>	<p>○引き続きHP等による情報発信の充実</p> <p>○学校だより等のデジタル化など、デジタルトランスフォーメーション推進の流れを受け、よりよい情報発信・情報収集の在り方について模索していく。</p>

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
<p>○年度当初に比べて、どの学年の児童も落ち着いて学習していた。それぞれが課題をもって取り組んでいる様子が見られた。効率的な学習の仕方に進化していると思った。</p> <p>○6年生はGIGA端末の活用に慣れている様子だった。集中して取り組んでいた。</p> <p>○外国語教育はどのようにしているのか興味があった。分からないことはGIGA端末で調べたり、先生に聞いたりしながら、積極的に取り組んでいた。</p> <p>○授業を見ていると、GIGA端末を使って調べる等、聞くだけの授業では無くなっていると感じた。</p> <p>○学校の先生方の教え方は昔と違って変わっていている。児童に考えさせる学習になっていると思った。</p> <p>○発想力を大事にされている教育活動をしていると感じている。地域でのイベントで感想を求められると、率先して手を挙げて発言する子が多い。学校で学んだことを、地域で発揮しているのだと思う。</p> <p>○計画委員会の児童が、自分たちで立案・計画をして実行し、そして評価していることに驚いた。力がついている。</p> <p>○計画委員会のあいさつ運動が、委員会だけの活動から、どんどん広がっていった。自分たちで反省をしながら取り組んでいくのが素晴らしい。色々な人を巻き込んで、協力してやっているのも素晴らしい。</p> <p>○あいさつ運動は、保護者も参加したい人も多しはず。PTAとのコラボも企画してほしい。</p> <p>○秋開催の運動会は、暑さ対策としてよかった。4年生が係として頑張っている姿もよかった。</p> <p>○配信メールで、不適切なLINEの使い方が配信された。学校の課題についても地域に開示している点が素晴らしいと思った。</p> <p>○「かわさきTEKTEK」は学校の役に立つし、自身の健康にも役立っている。</p> <p>○保護者が自分の子どもしか見ていないのかなと感じることがある。</p> <p>○自分の子が、家で、いろいろな友達のことをよく褒める。学校で、友達の良いところを見つけていこうとする教育をしているのだと、日々感じている。</p>	<p>○今年度、運動会の日程を春から秋に変えるなど、大幅な行事等の日程を組み換え、教育改革を行ってきた。小規模校であるので、一人一人にかかる業務が多くなるが、少しずつ改善を加え、少しでも児童の指導に注力できるよう努めてきた。また、今年度も教職員向けの「校長室だより」を通して、管理職の考えを積極的に知らせてきた。教職員のストレスチェックの結果もすこぶるよく教育委員会事務局からも評価されている。さらに、今年度の施策についても教職員で一つずつ成果や課題を話し合い、学校運営への参画の風土を作り上げることもできた。</p> <p>来年度は、上記した</p> <p>○基礎基本の習得⇒モジュール学習(週2回15分間の短時間学習)の創設</p> <p>○自主的な活動の充実⇒子どもたちが主体的に行う学習の充実と時間の保障(週時程の大幅な見直し 例…朝会・にし活、委員会・クラブ活動を火曜日に。かつクラブ活動の時数増)</p> <p>○読書活動の充実⇒「西菅読書に親しむ日」の継続と「西菅読書に親しむ時間」の創設</p> <p>○体力向上⇒全校あげての体力づくり</p> <p>○防災教育の充実</p> <p>○支援教育の充実⇒通級指導教室エリア拠点校としてのあゆみ</p> <p>○ペーパーレス化⇒学校だより等のデジタル化</p> <p>に力を入れていきたい。</p>